

親友のカレシに

犯された私



私の名前は
佐伯姫子

この日は
同じ大学の
テニスサークルに
所属している
親友の真知子の家で

夜遅くまで
飲みながら
真知子のグチを
聞いていた

ホント
親がうるさいのよ

もう
バイトして
仕送りしろ
仕送りしろって

同い年の
友達なんか

いまだに仕送り
されてる子だっ
てるのに……!!

あはは

大変だね……



その日は結構真知子も飲んじやって酔っ払って

へへー
ひめこ

ちよっ…ちよっと!
何!

あっ!
やめて…!

もともと
レズっ気のある
真知子は
私へセクハラ
し始めて



姫子も早く
彼氏とか
作らないと

このオッパイが
もったいないぞ

強引に
ブラジャーを
はずされて

後ろから
オッパイを
揉みまわられて

ちよっ
と
真知子…!

それが
止まらなくて

もみもみ

普段からよく
部活終わりの
ロッカールームとかで
おっぱい揉まれたりとか
セクハラされるんだけど

やめてッ！

もうやりすぎ
だから……！

そんなこと
言ってる

つまむたびに
ビクビクしちゃうって

その日は
酔っ払いすぎて
どんどん
セクハラがエスカレートして

かわいい♪



私も乳首が
敏感だから

ほら♪

ほら♪

いじられるたびに
反応しちゃって
それがまた
真知子を喜ばせて

止まらなくて

乳首をいじられながら
電動マッサージ機で
股間とかまで
刺激されはじめて

アハハ
姫子って
何でそんなに
感じやすいの〜？

真知子は
冗談でやってる
つもりなんだろうけど

もうダメッ！

もう終わり…ッ！

イッチャうんじや
ないの姫子！

やめッ…

まさか
親友の家で
イッたりとか
しないよね！

もうシヤレにならない
くらいになって…

やめてッ！



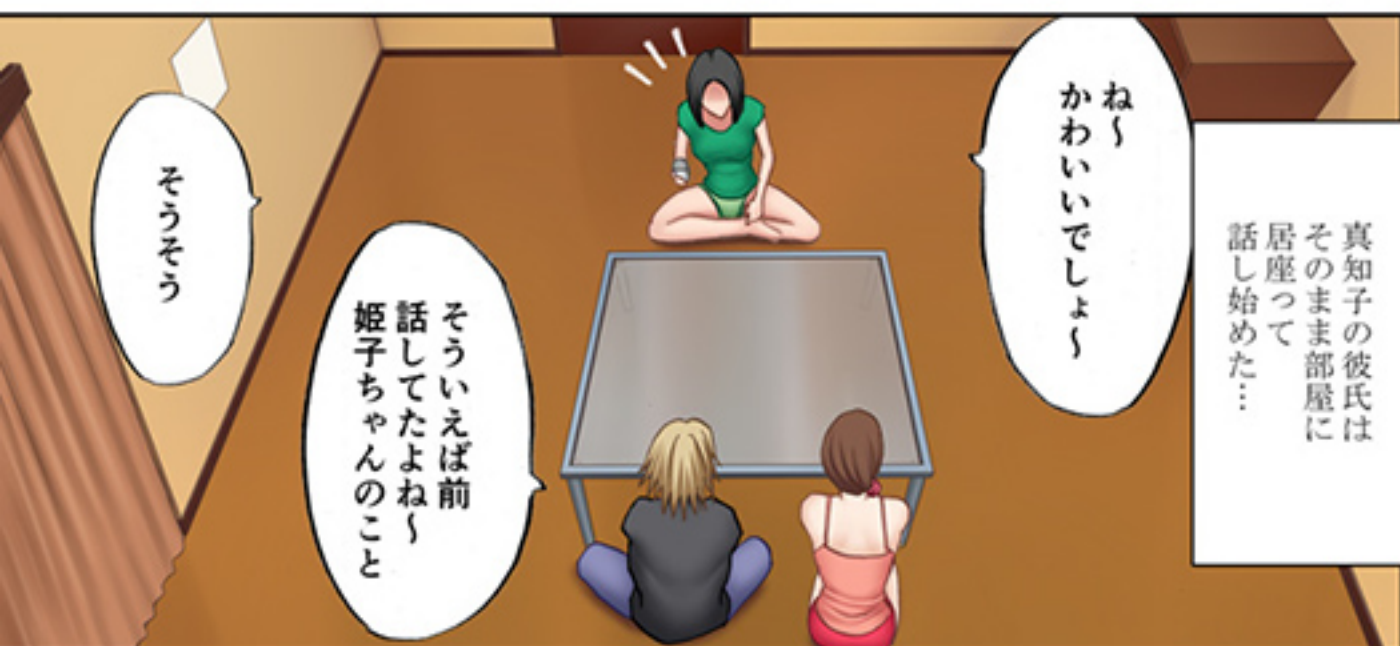
親友の彼氏に
犯された私



あ
どうも
はじめまして

友達の
姫子

大学のサークルで
いっしょなの



そうそう

そういえば前
話してたよね
姫子ちゃんのこと

ね
かわいいでしょ

真知子の彼氏は
そのまま部屋に
居座って
話し始めた



イキそうになるくらいまで
責められてて
パンツも濡れたままだし

ついさっきまで
真知子に
セクハラされてて

ブラジャーは
はずされて
乳首は立ったままだし

そんな状態で
男の人の
隣にいるなんて
恥ずかしすぎて



だ〜か〜ら〜

それは
やんないっ
つったじゃん!

え!
何?はあ?

何考えてるの
こんな時間に……!



もう
早く帰ろうとした
その時……

真知子に
電話がかかってきて



ちょっと
ゴメンね……

あっちで
電話してくるね〜

向こうの部屋で
ケンカし始めて……

ケンカしてる
親からの電話だった
みたいで



そしたら……

突然



私は
真知子の彼氏と
二人きりみたいにな
って

……
気まづくなって……



えっ？



ねえ…

姫子ちゃん

姫子ちゃんって
とってもオッパイが
敏感なんでしょ？



ねえ
触ってみてもいい？

えっ！

ちょっと！



真知子が
いなくなるや

姫子ちゃんが
触ってほしそうに
してるから
触っちゃおう♪

急に私の
おっぱいを
揉み始めて

ちょっと
冗談はやめてください
って…！！

ちょっ…！！

モ汁

モ汁

モ汁

うっはー
ホントだー

揉むだけで
感じてる？

真知子が
言ってた通り
じゃん♪

ちよつと！
この人何なの……！？

ちよつと！
あの……！

ジョークで
ちよつと触る
なんて
レベルじゃなく
本気でHな手つきで
揉んできて

ついさつきまで
火照ってた
カラダは

まだ火を
つけられて……





こんなことしてらって
バレたら
ぜったいにやばいのに

何を言っても
全然
やめてくれなくて

んっ...

...

びんびん

びんびん

びんびん

びんびん

この反応はもう
姫子ちゃん
本気で感じちゃって
るよね〜♪

そっんなに
気持ちいいの？
フスフス

ドアの向こうで
真知子と親が
ケンカしてる声が
聞こえてる中で

私は
真知子の彼氏に
30分近く...

乳首をいじられ
続けて...

大声で
騒ぎ立てることも
できずに

悪いのは
真知子の彼氏の
ほうなのに

私ばかりが
罪悪感と
羞恥心に
さいなまれて...

ワケが分からなく
なって...